

令和8年度 第1回嘉麻市立織田廣喜美術館運営協議会議事録（要点筆記）

1. 審議会等の名称「令和8年度 第1回 嘉麻市立織田廣喜美術館運営協議会」
2. 開催日時：令和8年7月3日（金） 14時00分～15時30分
3. 開催場所：嘉麻市立織田廣喜美術館 市民アトリエ
4. 公開又は非公開の別：公開
5. 出席者
委 員：緒方泉（会長）、坂本留里子（副会長）、坂本鷹也、石場広規、早友忠敏、川尻司
執行機関：嘉麻市教育長：伊東新治、生涯学習課長：松浦宇哲、課長補佐：矢野義博、
文化推進係長：塚本明弘、文化推進係：藤原千晶、伊藤みどり
指定管理者：（株）図書館流通センター 統括責任者：下田富美子、チーフ：木村亜沙子
6. 傍聴人数：0人
7. 次第
開会のことば
（1）辞令交付
（2）教育委員会あいさつ
（3）自己紹介
（4）議事・報告
①役員の選出について
②令和7年度事業教育委員会点検・評価について（資料1）
③令和7年度事業報告（資料2）
④令和8年度事業計画（資料3）
⑤令和8年度事業経過報告について（資料4）
⑥美術館運営方針（案）について（資料5）
⑦その他
（5）事務連絡等
閉会のことば

【 会 議 録 】

- （1）辞令交付
全委員の辞令、委嘱書を交付
- （2）教育委員会あいさつ
伊東教育長によるあいさつ
- （3）自己紹介
全委員から自己紹介
- （4）議事・報告
①役員の選出について
委員による互選、事務局から会長に緒方委員、副会長に坂本留里子委員を提案し異議なく承認

緒方会長、坂本副会長によるあいさつ

②令和7年度事業教育委員会点検・評価について

(事務局)

第6次教育アクションプランに基づく目標値と実績について、美術館を活用した学校数、市民アトリエ利用回数、入館者数などの達成状況について説明を行った。

(協議会)

- ・美術館を活用した学校数が目標を下回っていることに対し、中学校美術部の活動場所として市民アトリエを活用することで利用拡大が期待できるのではないかと。

事務局回答：令和8年度以降、中学校美術部との連携を進め、利用校数及びアトリエ利用回数の増加を目指したい。

- ・主催講座数が13講座となっているが、どのような講座か。

事務局回答：講座としては、アートキッズが10回、アートワーク1回、ミニ工作ワークショップ1回、大人の学美塾1回である

- ・市民アトリエ・展示室の利用促進について、美術館を地域の文化活動の拠点として活用すべきであり、市内外の文化団体や美術団体への周知を強化することや団体同士が交流できる場としての役割も期待できる。
- ・若年層への情報発信について、若い世代はSNSによる情報収集・発信が中心となっていることや写真撮影スポットや作品投稿など、来館者自身が発信したくなる仕掛けづくりが重要である。また、子ども向け事業では「夏休み自由研究」など、参加目的が伝わる広報を行うことで集客につながる。
- ・広報については、子どもたちの活動写真や作品を積極的に紹介すると、保護者へのPR効果が期待できる。また、SNS等を活用し、参加者自身による情報発信を促すことも有効である。
- ・点検評価の指標としては、単位や延べ数、講座の種別など考え方を整理するとわかりやすくなるのではないかと。

③令和7年度事業報告について

④令和8年度事業計画について

⑤令和8年度事業経過報告について

(事務局)

令和7年度事業報告及び令和8年度事業計画、令和8年度事業経過報告について、概要説明を行った。

(協議会)

- ・資料にページ番号がなく見づらい。

事務局回答：次回以降の資料にはページ番号を記載し見やすくする。

⑥美術館運営方針（案）について

(事務局)

嘉麻市立織田廣喜美術館運営方針（案）について、概要説明を行った。

(協議会)

- ・会長から、今回は委員同士がそれぞれの考え方を共有でき、有意義な協議となった。

今回の協議会において、新たに就任された委員もいることから、すぐに答申を出すことは難

しいと思う。次回協議会では、協議会としての運営方針（案）答申内容を整理していきたい。
運営方針（案）については、各委員持ち帰り、意見を出してもらいたい。
また、第7次教育アクションプランについても、運営方針に合わせた見直しを検討していく
必要がある。

⑦その他

（事務局）

昭和100年、嘉麻市市政20周年記念事業として、嘉麻市立織田廣喜美術館において企画展
「あゝ昭和ノスタルジー」を8/21から9/23に開催することを伝えた。

（5）事務連絡等

委員からの連絡事項等無し。

上記に相違ないことを確認する。

令和8年7月27日

会議録確認者：会長 緒方 泉